

東京大学

寄付講座設立による臓器移植体制の充実と次世代育成

——東大病院内に「次世代臓器移植開発推進講座」を開設——

発表のポイント

- ◆日本では脳死ドナーに対応するための人材育成、体制・設備の整備が急務であることから、移植を受けられた患者さんが設立した一般社団法人 N28 からの寄附をもとに「次世代臓器移植開発推進講座」を 2025 年 4 月 1 日に開設した。
- ◆移植関連各部門に紐づいた指導医を配置し、豊富な症例を基に、実臨床の中で高度な教育を行うことで、高度な専門知識と技術を持つ人材を育成する。
- ◆海外でしか学べなかった臓器移植教育を国内で実現し、国内で増加の一途を辿る脳死ドナーに対応するための臓器移植体制を強化することで、日本の臓器移植医療のレベル向上を目指す。

概要

東京大学医学部附属病院（以下、東大病院）の脳死下臓器移植の受け入れ数は国内最多となっています。一方、増加する国内の脳死ドナーに対応するための人材育成、体制・設備の整備が急務です。そこで、移植を受けられた患者さんが設立した一般社団法人 N28 からの寄附をもとに「次世代臓器移植開発推進講座」を 2025 年 4 月 1 日に東大病院内に開設しました（協力講座：大学院医学系研究科 呼吸器外科学）。

本講座では、肺移植だけでなく、他臓器の移植や麻酔科、集中治療分野など、臓器移植に関わる多岐にわたる分野で、高度な専門知識と技術を持つ人材を育成します。これにより、これまで海外でしか学べなかった最先端の臓器移植に関する教育を国内で実現し、日本の臓器移植医療の国際的なレベル向上を目指します。また患者管理の効率化を図るための情報管理システムの研究開発を加速させ、より安全で質の高い臓器移植を実現するための基盤を構築します(図 1)。

また本講座と関連して、臓器移植を優先して実施する高規格手術室の増設や、臓器移植患者を優先して受け入れる ICU の増設など、臓器移植に必要な医療環境の整備を計画しています。

本講座の設置は、日本の臓器移植医療における大きな転換点となることが期待されます。当院は、この寄付講座を起点として、臓器移植に関する臨床、研究、教育の基幹施設としての「東大モデル」を構築し、日本の臓器移植医療を次のステージへと導いていきます。

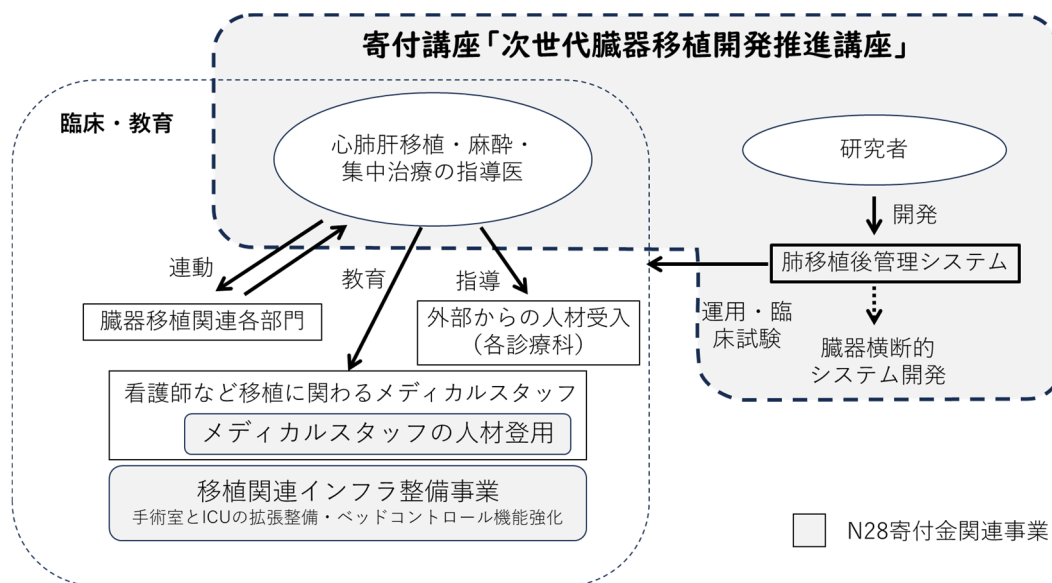


図 1： 次世代臓器移植開発推進講座の概要

令和 7 年 4 月開設の寄付講座「次世代臓器移植開発推進講座」の概要。移植関連各科の指導医を配置し人材育成をはかるとともに、患者管理の効率化を図るための情報管理システムの研究開発を加速させる。また寄付金関連事業として、メディカルスタッフの登用、移植関連インフラの整備事業などを計画している。

発表内容

東大病院の脳死下臓器移植の受け入れ数は国内最多となっており、2024 年は 28 件の脳死下心臓移植、41 件の脳死下肺移植、31 件の脳死下肝移植（心肺肝合計 100 件）を実施し、いずれも過去最多でした（図 2）。一方、増加の一途を辿る国内の脳死ドナーに対応するため、移植を担う人材の育成、体制・設備の充実が急務となっています。

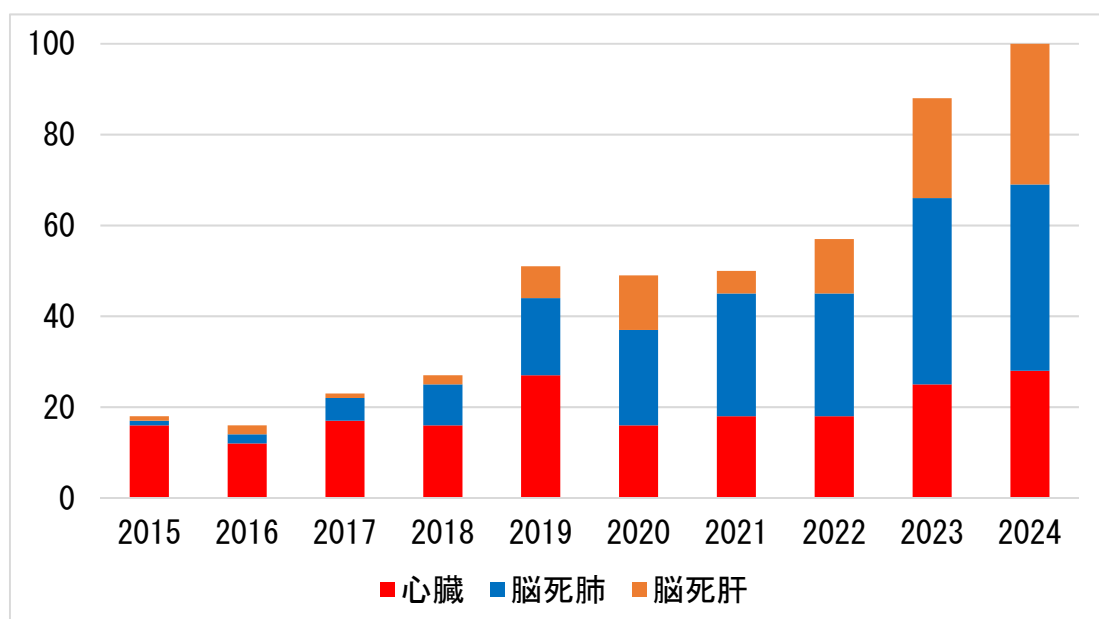


図 2： 東大病院における脳死下心・肺・肝移植の実施件数の推移

東大病院の脳死下臓器移植の受け入れ数は国内最多であり、2024 年は 28 件の脳死下心臓移植、41 件の脳死下肺移植、31 件の脳死下肝移植（心肺肝合計 100 件）を実施、いずれも過去最多だった。

そこで、移植を受けられた患者さんが設立した一般社団法人 N28 からの寄附をもとに「次世代臓器移植開発推進講座」を 2025 年 4 月 1 日に東大病院内に開設しました。本講座の設立は、国内で増加の一途を辿る脳死ドナーに対応するため、臓器移植体制を強化し、日本の臓器移植医療を飛躍的に発展させることを目的としています。

寄付講座の目的

- ・次世代の臓器移植を担う人材の育成：肺移植だけでなく、他臓器や麻酔科、集中治療分野など、臓器移植に関わる多岐にわたる分野で、高度な専門知識と技術を持つ人材を育成します。これにより、これまで海外でしか学べなかった最先端の臓器移植に関する教育を国内で実現し、日本の臓器移植医療の国際的なレベル向上を目指します。
- ・臓器移植に関する研究開発の推進：患者管理の効率化を図るための情報管理システムの研究開発を加速させ、より安全で質の高い臓器移植を実現するための基盤を構築します。

寄付講座の取り組みと関連事業

- ・教員配置：移植関連各部門に紐づいた指導医を配置し、豊富な症例を基に、実臨床の中で高度な教育を行います。
- ・インフラ整備：臓器移植を優先して実施する高規格手術室の増設や、臓器移植患者を優先して受け入れる ICU の増設、ベッドコントロール機能の強化など、臓器移植に必要な医療環境を整備します。

日本の臓器移植医療への貢献

本寄付講座の設立は、日本の臓器移植医療における大きな転換点となることが期待されます。本学は、この寄付講座を起点として、臓器移植に関する臨床、研究、教育の基幹施設としての「東大モデル」を構築し、日本の臓器移植医療を次のステージへと導いていきます。

今後の展望

国内の脳死ドナー数は増加傾向にありますが、臓器移植の受け入れ体制が十分でないために、移植を断念せざるを得ないケースが後を絶ちません。本寄付講座の取り組みを通じて、この問題を解決し、すべての患者が適切な移植治療を受けられる環境を整備してまいります。

発表者情報

東京大学医学部附属病院

田中 栄 病院長

兼：東京大学大学院医学系研究科 整形外科学 教授

東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科 科長

東京大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学

佐藤 雅昭 教授

兼：東京大学医学部附属病院 呼吸器外科 科長

問合せ先

（内容については発表者にお問合せください）

東京大学医学部附属病院 呼吸器外科
科長・教授 佐藤 雅昭（さとう まさあき）

〈広報担当者連絡先〉

東京大学医学部附属病院 パブリック・リレーションセンター
担当：渡部、小岩井

Tel：03-5800-9188 E-mail：pr@adm.h.u-tokyo.ac.jp